

発刊にあたって

令和5年版の営農改善資料の発刊にあたりご挨拶申し上げます。

生産者並びに関係機関の皆様方には、地域の農業振興、地域社会の発展に向け、多大なるご尽力をされている事に対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。

生乳の生産抑制、諸資材の高騰など酪農経営を取り巻く環境は厳しい状況が続いていますが、昨年の10月には外国人の入国規制の水際対策が大幅に緩和されました。

ウイズコロナからポストコロナへと舵が切られ、インバウンド復活の兆しが見えて来ました。

5兆円とも言われる訪日客の消費回復が、今後の生乳需要の底上げにつながるものと大いに期待するところです。

激動の世の中にあり、自国での食料の確保など消費者の食料安全保障への関心が高まりつつあります。

政府は、農産物、生産資材、家畜の飼料なども含め過度な輸入依存からの脱却を図るため、「食料安全保障強化政策大綱」を策定し、国産飼料の供給・利用拡大を進める事としております。

このような動きを好機と捉え、根室ならではの豊富な土地資源を最大限生かした粗飼料の生産、利用を通して、消費者の需要に添えていくことが必要と考えます。

本年の営農改善資料では、

根室地域の粗飼料生産基盤を活かした草地の管理についての課題と解決方法を掘り下げ、わかりやすく解説し、皆様方の営農のヒントとなるよう作成しております。

本資料が、幅広く皆様方に活用され、経営改善の一助となれば幸いです。

結びとなりますが、営農改善資料作成に当たり、情報提供、ご協力を頂きました農業者の皆様、関係者の皆様に心から感謝申し上げます、発刊にあたってのあいさつと致します。

根室農業改良普及センター  
所長 堀内正洋